

ことわざ(上級)プリント

月 日 名前 _____

問1 「呉下の()」の()に入る言葉はどれですか？

1. 阿咩 2. 阿修 3. 阿蒙 4. 阿呆

問2 「春眠暁を覚えず」の意味はどれですか？

1. 春は眠気が強く、朝早く起きるのが難しい
2. 春の朝は日が昇るのが遅いので眠い
3. 春の眠りは浅く、夜明けとともに目が覚める
4. 春の夜は心地よく、夜が明けたことにも気づかず眠ってしまう

問3 「国破れて()在り」の()に入る言葉はどれですか？

1. 大地 2. 山水 3. 山河 4. 国土

問4 「鶏群の一鶴」の意味はどれですか？

1. 集団の中で一人だけ浮いてしまい、孤立している様子
2. 多くの凡人の中に、一人だけ際立って優れた人物がいること
3. 鶏の群れの中に一羽だけ鶴が混じっているという珍しい光景
4. 平凡な人々の中に混じると、自分の才能が埋もれてしまうこと

問5 「夕立ち馬の背を」に続く言葉はどれですか？

1. はしる 2. わける 3. こえる 4. ぬらす

問6 「()を突き、盾を売る」の()に入る言葉はどれですか？

1. 槍 2. 刀 3. 矛 4. 剣

問7 「鳥なき里の蝙蝠」の意味はどれですか？

1. 環境によって人の価値は変わるということ
2. 優れた者がいない場所では、つまらない者が威張ること
3. 誰もいない場所で一人で頑張ること
4. 実力がないのに権力者に媚びて出世すること

問8 「万策尽きる」の意味はどれですか？

1. あらゆる手段を講じたが、どれも効果がなく行き詰まること
2. 多くの計画を立てたが、すべて失敗に終わること
3. 準備していた道具がすべて壊れてしまうこと
4. 多くの人が協力したが、目的を達成できないこと

問9 「備えあれば憂いなし」の意味はどれですか？

1. 心配事がある時は事前に準備をすべきだということ
2. 将来の不安を解消するために今すぐ行動すべきだということ
3. 何事も準備に時間をかければ失敗しないということ
4. 日頃から準備を整えておけば、いざという時にも心配や不安がないこと

問10 「弘法は筆を選ばず」の意味はどれですか？

1. 優れた道具を使えば、誰でも名人になれるということ
2. 弘法大師は筆を自分で作っていたという伝説からきた言葉
3. 名人は道具の良し悪しにこだわらず、立派な仕事をするということ
4. 達人は道具を大切に扱うため、選り好みをするということ

問11 「藪をつついて蛇を出す」の意味はどれですか？

1. 危険な場所には近づかないほうがよいという戒め
2. 藪の中を調べて蛇を見つけるような、慎重な調査のとえ
3. 余計なことをしたために、かえって災いを招いてしまうこと
4. 隠れていた悪事や秘密を暴き出すこと

問12 「万緑叢中紅一点」の意味はどれですか？

1. 多くの緑の中に鮮やかな赤い花が一つ咲いているように、多くの男性の中に女性が一人混じっていること
2. 自然の風景の中で、赤色が最も美しく見えること
3. たくさんの緑の中に赤い花が混ざっており、非常に目立つこと
4. 多くの平凡なものの中に、一つだけ優れたものが存在すること

問13 「人の噂も七十五日」の意味はどれですか？

1. 噂を広めるには七十五日という期間が必要であること
2. 人の噂は七十五日経てば再び話題にのぼること
3. 世間の噂は長続きするものではなく、しばらくすれば自然に忘れ去られるということ
4. 噂話は七十五日経てば必ず真実が明らかになるということ

問14 「窮鼠猫を」に続く言葉はどれですか？

1. 逃げる 2. 噛む 3. 捕らえる 4. 追う

問15 「鶏卵を以て石を投ず」の意味はどれですか？

1. 無謀なことをして、自ら滅びを招くこと
2. 弱い者が強い者に立ち向かうこと
3. 無駄な努力を繰り返すこと
4. 卵を投げて石を割るような努力をすること

問16 「弱目に()目」の()に入る言葉はどれですか？

1. 祟り 2. 呪い 3. 怒り 4. 泣き

問17 「門前()を張る」の()に入る言葉はどれですか？

1. 蜘蛛巣 2. 網目 3. 雀羅 4. 鳥籠

答え合わせ・解説

問1	答え 3 阿蒙	「呉下の阿蒙」の「阿蒙」の部分が入ります。意味は「学問や進歩がなく、昔のままの未熟な者」です。
問2	答え 4 春の夜は心地よく、夜が明けたことにも気づかず眠ってしまう	「春眠暁を覚えず」は「春の夜は心地よく、夜が明けたことにも気づかず眠ってしまう」という意味です。
問3	答え 3 山河	「国破れて山河在り」の「山河」の部分が入ります。意味は「戦乱などで国は滅びても、自然の山川は変わらずに残っていること」です。
問4	答え 2 多くの凡人の中に、一人だけ際立って優れた人物がいること	「鶏群の一鶴」は「多くの凡人の中に、一人だけ際立って優れた人物がいること」という意味です。
問5	答え 2 わかる	「夕立ち馬の背をわかる」の続きは「わかる」です。意味は「夕立は局地的に降り、場所によって天気が全く違うこと」です。
問6	答え 3 矛	「矛盾」の「矛」の部分が入ります。意味は「前後のつじつまが合わないこと」です。
問7	答え 2 優れた者がいない場所では、つまらない者が威張ること	「鳥なき里の蝙蝠」は「優れた者がいない場所では、つまらない者が威張ること」という意味です。
問8	答え 1 あらゆる手段を講じたが、どれも効果がなく行き詰まること	「万策尽きる」は「あらゆる手段を講じたが、どれも効果がなく行き詰まること」という意味です。
問9	答え 4 日頃から準備を整えておけば、いざという時にも心配や不安がないこと	「備えあれば憂いなし」は「日頃から準備を整えておけば、いざという時にも心配や不安がないこと」という意味です。
問10	答え 3 名人は道具の良し悪しにこだわらず、立派な仕事をすること	「弘法は筆を選ばず」は「名人は道具の良し悪しにこだわらず、立派な仕事をすること」という意味です。
問11	答え 3 余計なことをしたために、かえって災いを招いてしまうこと	「藪をつついて蛇を出す」は「余計なことをしたために、かえって災いを招いてしまうこと」という意味です。
問12	答え 1 多くの緑の中に鮮やかな赤い花が一つ咲いているように、多くの男性の中に女性が一人混じっていること	「万緑叢中紅一点」は「多くの緑の中に鮮やかな赤い花が一つ咲いているように、多くの男性の中に女性が一人混じっていること」という意味です。
問13	答え 3 世間の噂は長続きするものではなく、しばらくすれば自然に忘れ去られるということ	「人の噂も七十五日」は「世間の噂は長続きするものではなく、しばらくすれば自然に忘れ去られるということ」という意味です。
問14	答え 2 噛む	「窮鼠猫を噛む」の続きは「噛む」です。意味は「追い詰められた弱者が、必死になって強者に反撃すること」です。
問15	答え 1 無謀なことをして、自ら滅びを招くこと	「鶏卵を以て石を投ず」は「無謀なことをして、自ら滅びを招くこと」という意味です。
問16	答え 1 崇り	「弱り目に祟り目」の「祟り」の部分が入ります。意味は「不運なことが重なって、さらに悪い状態になること」です。
問17	答え 3 雀羅	「門前雀羅を張る」の「雀羅」の部分が入ります。意味は「訪ねてくる人がなく、家がひっそりと寂れていること」です。